

平成 29 年 4 月 10 日  
一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会

### 透湿防水シートの JIS 規格改正をお知らせします

平成 28 年 8 月に JIS A 6111（透湿防水シート）が改正されましたのでお知らせします。

改正された JIS A 6111 : 2016（透湿防水シート）解説の中に、透湿防水シートの施工に際して防腐防蟻剤で処理された胴縁を使用する場合の施工における注意事項が追記されました。（「防腐防蟻剤に含まれる界面活性剤」に関する記述がありますが、すべての防腐防蟻剤に界面活性剤が含まれるものではありません。）

#### 7 施工における注意事項

仕上げ材と透湿防水シートとの間に通気層を確保し、かつ、仕上げ材の下地となる木材（以下、胴縁という。）に防腐防ぎ（蟻）剤が含まれる場合、この防腐防ぎ（蟻）剤に含まれる界面活性剤が溶出し、透湿防水シートの性能に影響を与える可能性があることが判明している。

については、当該部位の防腐防ぎ（蟻）剤入りの胴縁を使用する場合には、次の点に配慮して施工を行うこととする。

- ① 施工中に胴縁が雨水でぬ（濡）れないよう、現場管理に配慮する。
- ② 防腐処理された木材を胴縁に用いる際には、十分乾燥させたものを用いる。
- ③ 木材の防腐剤が透湿防水シートに浸潤して透湿防水シートの防水性が低下しないよう、適切に施工する。

以上